

株式会社TOKAIケーブルネットワーク  
平成27年度第5回番組審議会 議事録

開催日時 平成27年12月2日(水) 11時00分～13時15分

場所 グランディエールブケトーカイ 4階 プレリユード

出席者 <審議委員> 下記、審議委員7名中4名の出席  
大坪 檀 様 審議会会長  
石川 茂樹 様 (藤枝市)  
勝間田 誠 様 (御殿場市)  
古谷 光子 様 (焼津市)

<TOKAIケーブルネットワーク>

代表取締役社長 福田 安広

常務取締役 杉山 康則

常務取締役 岩本 裕英

常務取締役 石間 尚雄

経営企画室室長 岩本 光司

放送制作部長 澤井 宏幸

放送制作部課長 池谷 直樹

<事務局>

放送制作部 原 貴章、石垣 彰啓

- 次第
1. 開会挨拶 (代表取締役社長 福田 安広)
  2. 議事  
・ 審議委員のご紹介(焼津 古谷様、御殿場 勝間田様)  
・ 現在放送中の番組紹介・審議(わが町のカンバン)
  3. 閉会挨拶 (常務取締役 杉山康則)

審議番組： 「わが町のカンバン」※平成27年10・11月上旬放送分各15分視聴  
沼津市商工会議所・三島商工会議所エリア

審議概要：

平成27年10月より放送を開始した「うちのカンバン」は、従来放送していた「わが町探索」と「うちのカンバン」を統合してリニューアルした番組。各地区商工会議所に推薦していただいた、地元で話題の店舗、企業、観光スポットなどを紹介していく番組。ご当地の商品や製品、観光スポット等を番組で紹介することによって視聴者に地元をもっとよく知ってもらい、地元店舗や企業に親しみを持ってもらい、視聴者に実際に足を運んでもらい、地域活性化に役立てる。

番組審議委員の意見：

(御殿場市 勝間田委員)

- ・食レポのように、淡々と伝えるのではなく、「自腹ゲーム」を取り入れるなど、面白く紹介している。
- ・地域のスポットのインパクトがなかった。収録当日の天気の都合だが、色合いがもう少しあればよかった（海で撮影をしたが、収録当日は曇りだったため、海や富士山の青さを撮ることが出来なかった）
- ・オープニングで紹介した観光スポットは、来週に放送となっているが、そのままの流れで紹介をしたほうが良い。
- ・番組で紹介した干物は、お土産用なのか、買い物用なのか紹介するなど、地域の人が行きやすい情報なのか、観光客（市外）向けの番組なのか明確にした方が良い。
- ・番組に出る人が少ないのでは。出演者は番組を観たいと思うので、多くの方が出演すれば、もっと観てくれるようになる。

（藤枝市 石川委員）

- ・翌週につなげる流れが明確でなかった。次回観たくなるような演出をした方が良い。特に沼津は、翌週に何を放送するのか分からなかった。
- ・市外から日帰りで来てもらえるような番組制作をした方が良い。
- ・商工会議所が紹介している店舗やスポットのため、商工会議所の色が出ている。商工会議所の会報誌に放送告知を掲載してもらおうなど、より連携を強化したらどうか。

（焼津市 古谷委員）

- ・進行役のダムダムおじさんは、芸人のため滑舌が良く、リズムも良かったため観ていて良かった。
- ・オープニングからわくわくして観ていたが、オープニングで紹介したスポットの紹介が、翌週詳しく放送となると観ない可能性がある。オープニングの流れのままに放送した方が良い。
- ・番組は良いが、周知が弱いため、もったいない。消化不良であった。この番組を商工会議所や観光協会などで放送するなど、連携を強化したほうが良い。

（大坪会長）

- ・沼津は青い海、空、富士山が有名で、ブルーインパクトがある。収録当日は曇りだったが、後日等に風景を撮影するなど、魅力を伝えることができると良い。
- ・番組の目的・コンセプトが不明確。何のためなのか・誰のためなのか、視聴ターゲットを明確にした方が良い  
例えば、場所の説明をするにしても、駐車場があるのか、バスで行く方法も紹介するのかなど、番組制作にあたっての工夫が出てくる。
- ・沼津、三島は意外性がある場所があるので、そこを紹介すると行ってみたいくなる。例えば沼津は御用邸があり、海で泳いでいる、寿司、深海魚博物館など。

以上